

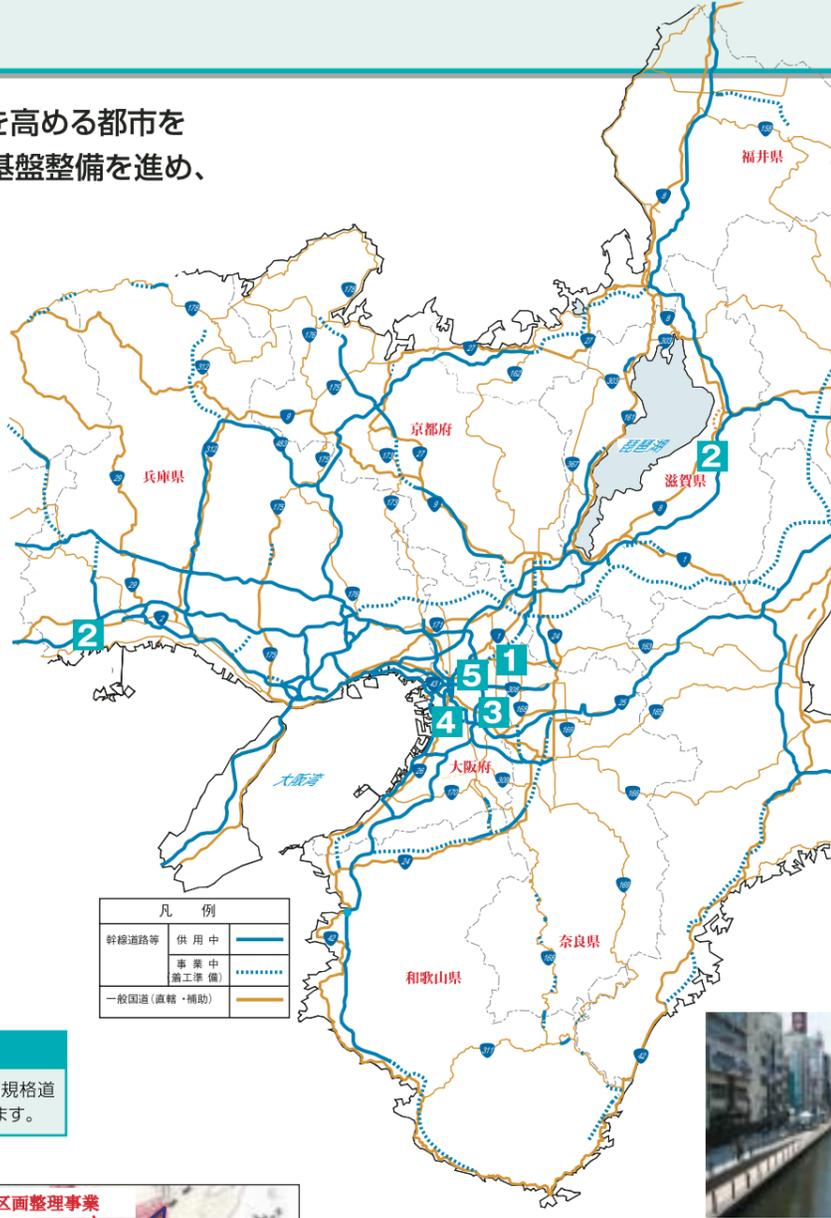
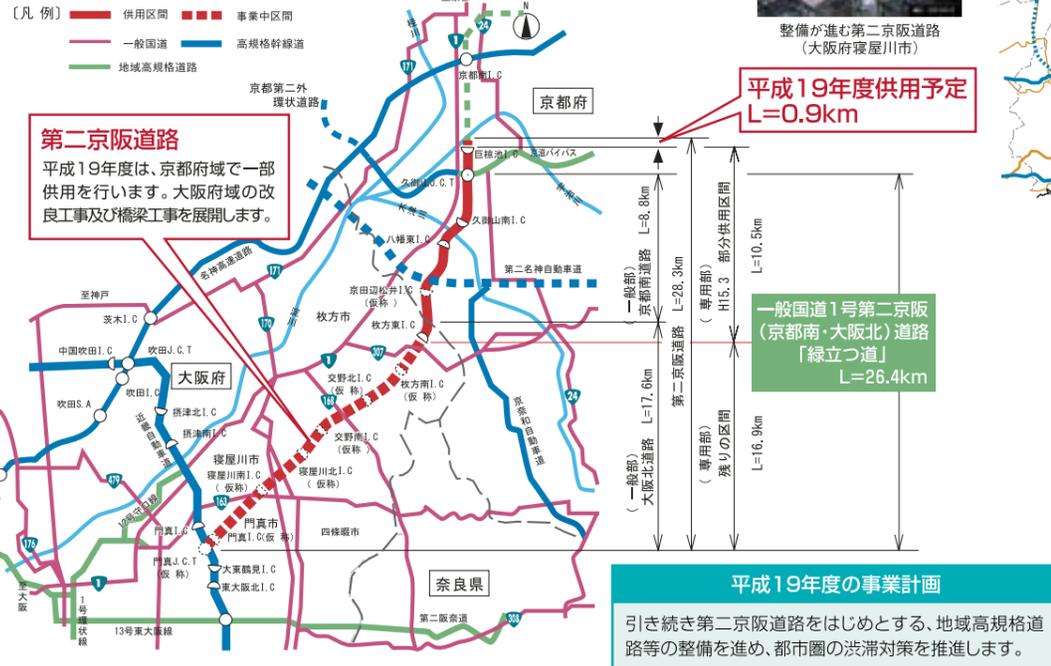
にぎわい近畿

関係機関や住民の主体的な参加・連携を得ながら、住む魅力、訪れる魅力を高める都市を再生するとともに、内外との交流ネットワークの充実や観光振興に向けた基盤整備を進め、国際集客力の向上を図ります。

1 都市圏の渋滞対策

渋滞を緩和するための道路整備

京都～大阪間の一般国道1号をはじめ、都市圏で慢性化する交通渋滞を緩和するため幹線道路の整備を進めています。平成15年には第二京阪道路、京都第二外環状道路の部分開通を行いました。引き続き全面開通を目指し、整備を推進します。



凡例	
幹線道路等	供用中
一般国道(直轄・補助)	事業中(施工準備)
	事業中
	調査中



2 地域のまちづくりと一体となった道路整備の推進

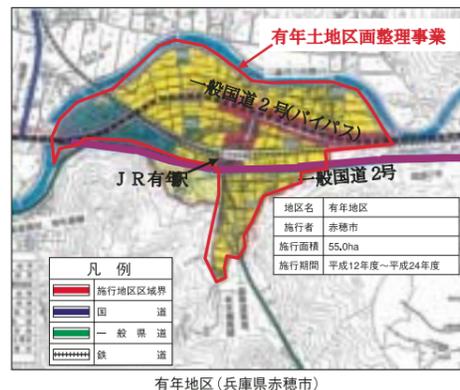
土地区画整理事業と道路整備を一体で進め、安全・安心で快適なまちづくりを推進します。

彦根駅東部地区(滋賀県彦根市)

彦根の新しい玄関口となるJR彦根駅東口を開設し、駅を中心とする交通結節点機能を創出。一般国道8号の歩道整備を推進。電線共同溝による電線類の地中化や歩行者空間のP/Aフリー化を考慮した安全・安心な整備を推進します。

有年地区(兵庫県赤穂市)

有年地区では、市街地の形成とともに一般国道2号のバイパスとなる相生有年道路の整備を進め、新しい都市核の創造を図ります。(公共施設管理者負担制度を活用し必要な用地を確保します)まちづくりとともに、道路整備により通過交通と地域内交通の混在による交通混雑の解消と交通安全の確保および沿道環境の改善などを推進します。



平成19年度の事業計画

- 彦根駅東部地区**
松縄手交差点改良事業、駅前広場・区画道路の整備、まちづくり活動支援事業など。
- 有年地区**
都市計画道路・区画道路の整備。

3 にぎわい再生で地域を発展 踏切除去による交通円滑化と市街地の一体化による都市活性化

近鉄奈良線連続立体交差事業

近鉄奈良線は東大阪市を東西に平面構造で横断し、市街地の分断や踏切により道路交通を阻害するため、高架化を図る近鉄奈良線連続立体交差点事業を実施しています。若江岩田駅～東花園付近の約3.3kmで高架化を行い9箇所の踏切を脱却。都市内交通の円滑化を図るとともに分断された市街地を一体化し、地域の活性化を図ります。



平成19年度の事業計画 近鉄奈良線の高架本体工事を行います。

4 都市再生プロジェクト推進 魅力ある水辺都市再生

高規格堤防整備事業

治水・都市防災の観点から整備の必要性の高い既成市街地を安全・安心な水辺都市に転換し、良好な市街地を形成するため、市街地整備や都市再生環状道路と高規格堤防(スーパー堤防)を一体的に整備します。



道頓堀川再生事業

大阪の都心南部に残された重要なウォーターフロント・道頓堀川では、川を軸とした水辺に開かれた安全な沿川空間の形成を図り、河川と下水道の連携による水質改善、橋梁の美装化により、川を活かした多目的な空間整備を促進し、「水都大阪」の再生を目指します。

平成19年度の事業計画

- 高規格堤防事業**
都市再生プロジェクト(大和川線・淀川左岸線)の大和川線との一体整備を引き続き実施するとともに、淀川左岸線との一体整備に向けて関係機関と調整を図ります。
- 道頓堀川再生事業**
「湊町リバープレイス～日本橋の遊歩道整備」(河川環境整備・利用推進)、「平成の太閤下水(北浜～逢坂貯留管)、増補管(東横堀～桜川幹線)の整備」を行います。

5 国際企業の集積・新産業立地を支援 知的創造拠点の形成による都市空間再生

大阪駅北地区まちづくり計画

大阪駅北地区の優位性を活かし、関西の都市再生を担い、アジア・世界へのゲートウェイとなる国際拠点の形成を目指します。関西経済の活性化や都市魅力の創出に向けた都市基盤施設を整備。国際的な企業の集積や新産業の立地支援、国際競争力の強化を図ります。平成18年に先行開発地区3ゾーンの開発事業者が決定。



平成19年度の事業計画

都市計画道路・区画道路の整備(まちびらき予定:平成22年度)

